

南海トラフ地震発生帯掘削計画

1. 日程※

平成 21 年 5 月 10 日 和歌山県新宮港出港

5 月中旬～7 月末 第 1 次研究航海 (IODP Expedition 319-1)

8 月初旬～8 月末 第 2 次研究航海 (IODP Expedition 319-2)

9 月初旬～10 月初旬 第 3 次研究航海 (IODP Expedition 322)

※気象条件や調査の進捗状況等によって変更の場合あり。

2. 我が国から参加する研究者

○第 1 次・第 2 次研究航海 (IODP Expedition 319) に参加する研究者

氏名	所属	乗船期間 (予定)
荒木英一郎	海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクト 技術研究主任 ※本航海の共同首席研究者	6 月 4 日～6 月 25 日、 8 月 9 日～8 月 31 日
伊藤高敏	東北大学流体科学研究所 准教授	6 月 4 日～7 月 20 日
加納靖之	京都大学防災研究所 助教	7 月 17 日～8 月 31 日
亀尾浩司	千葉大学大学院理学研究科 准教授	7 月 20 日～8 月 31 日
川端訓代	台湾中央大学 博士研究員	7 月 17 日～8 月 31 日
北田数也	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 技術研究副主任	7 月 20 日～8 月 31 日
堀口桂香	大阪大学大学院理学研究科 博士課程	6 月 4 日～7 月 17 日
林 為人	海洋研究開発機構高知コア研究所 技術研究副主幹	6 月 4 日～7 月 17 日

○第 3 次研究航海 (IODP Expedition 322) に参加する研究者※

氏名	所属
斎藤実篤	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 技術研究主幹 ※本航海の共同首席研究者
小田啓邦	産業技術総合研究所 地質情報研究部門 主任研究員

千代延 俊	東北大学大学院理学研究科 助教
中嶋 健	産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門 主任研究員
成瀬 元	千葉大学大学院理学研究科 准教授
朴 進午	東京大学海洋研究所 准教授
濱田洋平	大阪大学大学院理学研究科 修士課程
山本由弦	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 研究員

※乗船時期は9月1日～10月10日（予定）

3. 研究の概要

「南海トラフ地震発生帯掘削計画」は、プレート境界断層および津波発生要因と考えられている巨大分岐断層を掘削し、地質試料（コア・サンプル）の採取や掘削孔内計測を実施することにより、プレート境界断層内における非地震性すべり面から地震性すべり面への推移及び南海トラフにおける地震・津波発生過程を明らかにすることを目的としています。本計画は、全体として4段階（ステージ）に分けて掘削する計画で、紀伊半島沖熊野灘において南海トラフに直交する複数地点を掘削する予定です。

本年度の実施計画では、ステージ2として巨大地震発生帯の直上を深部まで掘削し、地質構造や状態を明らかにすることを目的としています。掘削した孔内には後年に観測システムを設置し、地震準備過程をモニタリングします。また、プレートとともに地震発生帯に沈み込む前の海底堆積物の組成、構造、物理的状态を調査します。本年度第1次研究航海では、海洋科学掘削としては世界で初めてのライザー掘削を行います。

詳細は、独立行政法人海洋研究開発機構による平成21年4月20日付け報道発表「地球深部探査船「ちきゅう」の平成21年度「南海トラフ地震発生帯掘削計画」について」でご覧いただけます。

URL: http://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20090420/index.html

（※海洋研究開発機構ホームページへリンク）